

茨城県奨学生 募集 (入学一時金)

出願資格

- 茨城県内居住者の子で、令和7年度に大学、短期大学又は専修学校の専門課程への進学希望者
- ほかに学力基準、家計基準等の要件あり

貸与額

240,000円 (無利息)

募集人員

20人

返還

大学等卒業後10年以内

卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の
事業所で就業したときは、返還免除！

(免除要件の詳細は募集要項をご確認ください。)

出願方法

在学する学校の奨学金担当者へ
奨学生願書ほか必要書類を提出

出願期限

学校の指示に従ってください。

〔学校から茨城県教育委員会への出願期限〕
令和6年11月22日(金)

- 詳細は募集要項をご覧ください。
募集要項は学校の奨学金担当者から受け取るか、茨城県教育委員会ホームページ(奨学金情報)から入手してください。
- 問合せは、学校の奨学金担当者又は茨城県教育庁学校教育部高校教育課へ

令和7年度茨城県奨学生募集要項

【入学一時金】

予約採用

茨城県教育委員会では、経済的理由によって修学が困難な学生及び生徒に対し、奨学資金を貸与しています。

令和7年度に大学、短期大学又は専修学校の専門課程に進学する方で、入学一時金の貸与を受けたいことを希望する方を対象に、予約採用の募集をします。

なお、この募集は、令和7年度の茨城県予算により実施する奨学資金事業の事前準備手続ですので、当事業に係る予算が不成立又は推薦基準や募集人員等の変更があった場合には、募集の中止や募集条件の変更をすることがありますので、御了承ください。

茨城県教育委員会への出願期限 令和6年11月22日（金）（必着）

※出願は学校を通して行います。

生徒から学校への書類提出期限は、各学校の指示に従ってください。

【目次】

第1 募集概要

1 奨学資金の概要	2
2 出願者の資格	2
3 出願方法	2
4 提出書類	3
5 採用選考	3
6 貸与方法	3
7 貸与の辞退	4
8 返還、9 返還猶予、10 返還免除	4
茨城県内に居住し、茨城県内で就業したときの返還免除	5

第2 推薦基準	6
---------	---

第3 添付書類	6
---------	---

記入例（奨学生推薦調書、奨学生願書）	7
--------------------	---

【問合せ先】茨城県教育庁学校教育部高校教育課 管理担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978番6

電話 029-301-6045/5245 FAX 029-301-5269

メール kokyo@pref.ibaraki.lg.jp

4 提出書類

提出書類名	作成者	備考
(1) 令和7年度 茨城県奨学生推薦生徒一覧	学 校	
(2) 奨学生推薦調書（様式第1号）	学 校	記入例（7頁）参照
(3) 提出書類チェックシート（学校用）	学 校	
(4) 奨学生願書（様式第2号）	生 徒	記入例（8頁～）参照
(5) 家計基準に係る証明書	生 徒	6頁参照
(6) その他茨城県教育委員会が必要と認めた書類	生 徒 （該当者のみ）	家計の状況等を確認するため、提出を求める場合があります。
(7) 提出書類チェックシート（貸与希望者用）	生 徒	

5 採用選考

推薦基準（6頁）に掲げる学力基準及び家計基準等に基づき提出書類を審査の上、茨城県奨学生等選考委員会による協議を経て採否を決定（内定）し、令和7年1月下旬を目途に、学校を通して通知します。

採用が内定した方は、令和7年度の当奨学資金事業の予算成立後、令和7年4月以降に、進学した学校を通して茨城県教育委員会宛て進学届等を提出した後に正式採用となります。

※ 正式採用されたときは、連帯保証人及び保証人を1人ずつ要します。

【連帯保証人及び保証人の要件】

- ・連帯保証人と保証人は、各々独立の生計を営む成年者で、うち1人は茨城県内に居住する人であること。

※ 決定（内定）後に大学等への進学が行えなかった場合等、辞退が確実な際は、辞退の手続きをお願いします。

6 貸与方法

(1) 利息

無利息

※大学等を卒業後、5頁に記載する要件を満たす場合は、返還が免除されます。

(2) 交付方法

進学後に提出する「口座振込依頼書」により指定された奨学生本人名義の口座に振込をします。

- ・○振込予定時期（事情により変更することがあります。）

5月

返還免除について

大学等を卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内で就業したとき

この入学一時金は、経済的理由によって修学が困難な生徒の進学を支援するとともに、将来茨城県で活躍していただく優秀な人材を確保することを目的とするものです。

そのため、大学等を卒業後に茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業した場合には、返還を免除することとしています。

ア 返還免除の要件

次の(ア)(イ)のいずれも満たすこと。

(ア) 茨城県内に居住したとき。

(イ) 次の①②のいずれかにより就業したとき。

①期間の定めのない労働契約により雇用（いわゆる正規雇用）され、茨城県内に所在する事務所又は事業所に勤務したとき。

②個人事業主として茨城県内の事業所又は事務所において事業を行ったとき。

イ 免除額及び免除手続

1年当たり24,000円（10年で全額免除）

1年毎に手続を行い、10年継続して要件を満たせば、240,000円全額の返還が免除となる仕組みです。

(例)

令和11年3月 大学等卒業

4月～ 茨城県内に居住し、茨城県内の事業所に勤務

令和12年3月 返還免除の要件を満たして1年経過

4月 「奨学資金返還免除願」を必要書類とともに茨城県教育委員会に提出。審査の上、1年分（24,000円）の返還免除を決定。

6月 （返還免除がない場合、1年分（24,000円）を返還）

以降同様

手続の詳細は、修業期間の終了時期が近づいたときに御案内いたします。

整理番号 1

奨学生推薦調書		記入者 職・氏名	教諭 関東 太郎	
本人の 氏名	茨城 奨一			
学校名	大学 学部 普通科 第3学年 ○○○○高等学校 全日制課程 (正規の修業期間 3年)			
成績 等 記 入 欄	※ (高等学校等) 高等専門学校、大学、専修学校の専門課程の成績評定表)			
	学年	(1)年	(2)年	合計
	科目評定			
	5	6	7	13
	4 (優)	5	4	9
	3 (良)			
2 (可)				
1				
合計	11	11	A 22	
	評定 科目数 認定値 $5 \times (13) = (65)$ $4 \times (9) = (36)$ $3 \times () = ()$ $2 \times () = ()$ $1 \times () = ()$ 合計A (22) B (101)			評定平均値 $\frac{B}{A} = 4.59$
独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の推薦基準を満たす <input checked="" type="checkbox"/>				
その他 推薦 の 参考 事項	・ 6頁の推薦基準「1 人物について」に記載する学生であることを具体的に記入願います。 (記入事項の例) 家庭事情、部活動・クラブ活動、生徒会活動、学業成績 など ・ 大学等を卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業する意思があることを本人に確認し、その旨記入願います。 ※以上の記入がない場合、推薦基準を満たさない者として不採用とする場合があります。			
上記の者は、健康で、人物・学業ともに優れ、かつ、学資の支弁が困難であり茨城県奨学生として適当と認められるので、推薦いたします。 令和●年●月●日 学校長 水戸 次郎 茨城県教育委員会教育長 殿				

必ず記入すること
(小数点第三位以下切捨て)

(記載の注意)

- ※印の所は該当する所を○で囲むこと。
- 成績評定表は、原則として前2年(第2学年は前1年)の科目数を記入のこと。
- 評定平均値は、小数点以下第二位まで記入のこと(小数点以下第三位を切捨て)。
- 入学一時金貸与を希望している場合、独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金に係る推薦基準を満たすことを確認し、チェック回すること。
- その他推薦の参考事項欄は、具体的かつ詳細に記載すること。
- 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。

(裏)

本人の履歴	平成●年 3月 ○○立○○中学校卒業	年 月
	平成●年 4月 ○○○○高等学校入学	年 月
	年 月	年 月

以上のおおりに記載に相違ありません。
奨学生として採用の上、奨学資金を貸与されるようお願いいたします。
なお、採用の上は、茨城県奨学資金貸与条例及び同条例施行規則その他の関係規程に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還その他の義務についても、両名連帯の責任を負うことを誓約いたします。

令和●年●月●日

ふりがな いばらき しょういち

本人氏名 茨城 奨一

ふりがな いばらき しんいち

連帯保証人氏名 茨城 進一

現住所 ○○市○○町○○○

生年月日 昭和○年6月15日

続柄 本人の(父)

茨城県教育委員会教育長 殿

下記の(記入上の注意)の8を確認し、適切な人を連帯保証人にしてください。

(記入上の注意)

- ※印のところは、該当するものを○で囲むこと。
- 奨学金の貸与希望期間は、入学一時金の貸与だけを希望する者については記入不要であること。
- 入学一時金貸与の出願者資格は、月額貸与とは異なるので留意すること。
- 家計内容は、家族全員の収入をできるだけ詳細にありのまま記入し、父及び母又はこれに代わって家計を支えている者について、前年の収入を証明する書類を添付すること。
- 家族の状況のうち、別居者については、続柄の前に×印を付けること。
- 家族経済状況及び奨学資金希望理由は、具体的かつ詳細に記入のこと。
- 本人の履歴は、必要に応じて適宜修正し、入学、卒業のほか、休学、転学、退学、身分の異動等も理由を付して漏れなく記入のこと。
- 連帯保証人は、独立の生計を営む父母兄弟又はこれに代わる者(本人が未成年者であるときは、親権者又は未成年後見人)で、将来奨学資金返還の責任を負いうる者であること。
なお、出願の際は連帯保証人1人でよいが、奨学生として採用されたときは更に別の保証人1人を要するから、あらかじめ考慮しておくこと。
- 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。

様式第1号（第3条関係）

整理番号				
奨学生推薦調書		記入者 職・氏名		
本人の 氏名				
学校名	—大学— 学部 学校 課程	科 第 学年	(正規の修業期間 年)	
成 績 等 記 入 欄	※（高等学校等、高等専門学校、大学、専修学校の専門課程の成績評定表）			
	学年	(1) 年	(2) 年	合計
	科目評定			
	5			
	4 (優)			
	3 (良)			
	2 (可)			
1				
合 計				
		評定 科目数 認定値 $5 \times () = ()$ $4 \times () = ()$ $3 \times () = ()$ $2 \times () = ()$ $1 \times () = ()$ 合計 A () B ()	評定平均値 $\frac{B}{A} =$ <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>	
独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の推薦基準を満たす <input type="checkbox"/>				
そ の 他 推 薦 の 参 考 事 項				
上記の者は、健康で、人物・学業ともに優れ、かつ、学資の支弁が困難であり茨城県奨学生として適当と認められるので、推薦いたします。 令和 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">学 校 長</div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">茨城県教育委員会教育長 殿</div>				

(記載の注意)

- 1 ※印の所は該当する所を○で囲むこと。
- 2 成績評定表は、原則として前2年（第2学年は前1年）の科目数を記入のこと。
- 3 評定平均値は、小数点以下第二位まで記入のこと（小数点以下第三位を切捨て）。
- 4 入学一時金貸与を希望している場合、独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金に係る推薦基準を満たすことを確認し、チェックすること。
- 5 その他推薦の参考事項欄は、具体的かつ詳細に記載すること。
- 6 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。

令和7年度 茨城県奨学生推薦生徒一覧

【入学一時金】

予約採用

学 校 名	
-------	--

【学校連絡先】 今後、奨学資金に係る御連絡や御案内をする際に使用いたします。

住 所	〒
電 話 番 号	
F A X 番 号	
メー ル ア ド レ ス	
担 当 者 名	

【推薦生徒】

整理 番号	氏 名	学 科	学 年	進学希望先 (いずれかに○を記入)
1				大学 ・ 専門学校
2				大学 ・ 専門学校
3				大学 ・ 専門学校
4				大学 ・ 専門学校
5				大学 ・ 専門学校
6				大学 ・ 専門学校
7				大学 ・ 専門学校
8				大学 ・ 専門学校

※短期大学は大学に含みます。

提出書類チェックシート（学校用）

【入学一時金】

例年、記入漏れや誤り、書類の添付漏れが多い項目についてのチェックシートです。

茨城県教育委員会への提出前に、下記の各項目について確認してください。

■ 1 「奨学生推薦調書」について

(1) 「記入者職・氏名」欄に記入がされていますか。	はい・いいえ
(2) 「成績等記入欄」には、正確な数字が記入されていますか。	はい・いいえ
(3) 本人に「大学等卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業する意思がある」ことを確認し、その旨が「その他推薦の参考事項」欄に記入されていますか。	はい・いいえ

■ 2 「奨学生願書」について

(1) 家族の経済状況と、奨学資金（入学一時金）を希望する理由が、「家族経済状況及び奨学資金希望理由」欄にきちんと記入されていますか。	はい・いいえ
(2) 大学等卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業する意思があることが、「家族経済状況及び奨学資金希望理由」欄に記入されていますか。	はい・いいえ
(3) (裏面) 貸与希望者が未成年の場合、連帯保証人は親権者又は未成年後見人となっていますか。	はい・いいえ

■ 3 添付書類について

(1) 「(非)課税証明書」(令和6年度課税(令和5年中の所得))の原本が、父母2人分添付されていますか。 ・父母いずれか一方しかいない場合は、当該父又は母のみ ・父母に代わって家計を維持する者がいる場合は、その者の分	はい・いいえ
---	--------

提出書類チェックシート（貸与希望者用）

【入学一時金】

例年、記入漏れや誤り、書類の添付漏れが多い項目についてのチェックシートです。
学校への提出前に、下記の各項目について確認してください。

■ 1 「奨学生願書」について

(1) 家族の経済状況と、奨学資金（入学一時金）を希望する理由が、「家族経済状況及び奨学資金希望理由」欄にきちんと記入されていますか。	はい・いいえ
(2) 大学等卒業後、茨城県内に居住し、茨城県内の事業所で就業する意思があることが、「家族経済状況及び奨学資金希望理由」欄に記入されていますか。	はい・いいえ
(3) (裏面) 貸与希望者が未成年の場合、連帯保証人は親権者又は未成年後見人となっていますか。	はい・いいえ

■ 2 添付書類について

(1) 「(非)課税証明書」(令和6年度課税(令和5年中の所得))の原本が、父母2人分添付されていますか。 ・父母いずれか一方しかいない場合は、当該父又は母のみ ・父母に代わって家計を維持する者がいる場合は、その者の分	はい・いいえ
---	--------